



消防大学校だより



危機管理・防災教育科 自主防災組織育成 コース（第13回）

消防大学校では、都道府県、市町村、消防本部等における自主防災組織の指導・育成担当者を対象として、自主防災活動の推進、多様な図上訓練等、その業務に必要な高度な知識及び能力を習得させることを目的に「危機管理・防災教育科 自主防災組織育成コース」を実施しています。

平成29年度の自主防災組織育成コースにおいては、第13回に参加した学生65名（平成29年5月22日～26日）が、消防大学校での5日間の全寮制の集合教育を終え、全員が無事修了しました。

研修では、消防庁幹部による防災行政の現状と課題に関する講義を始め、専門家による「大規模自然災害」に関する講義、女性や子供の視点での市民防災活動に関する講義、図上訓練（DIG）手法、災害シミュレーション

等を受講し、自主防災組織の指導・育成に必要な知識及び能力の習得に努めました。

また、課題研究では、限られた時間の中ではありますが、各班ごとに日頃抱えている問題点の中から研究課題を決定し、その解決策を探るため、行政職員と消防職員が各々の視点から活発な意見交換を行い、各関係機関との連携の重要性を認識するとともに理解を深めました。

研修を終えた学生からは、「行政、消防職員と立場の違う職員の間で情報共有ができた。」「他自治体の状況や先進事例、特徴ある取組など、現場で活かせることを多く学べた。」等の意見が多く寄せられました。

今後は、自主防災組織を指導・育成していく上で、消防大学校で得た知識、技術を十分に活用し、それぞれの地域で活躍されることが期待されます。



名古屋大学減災連携研究センター 福和教授による講義



図上訓練（DIG）手法の習得訓練の様子



災害時要配慮者対策の実技の様子



課題研究発表の様子

危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護 コース（第7回）

消防大学校では、地方公共団体の危機管理・防災担当、国民保護担当者に対する研修課程として、その業務に必要な行政動向等の知識及び能力を習得させることを目的に「危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース」を実施しています。

平成29年度の危機管理・国民保護コースにおいては、第7回の学生66名（平成29年6月1日～7日）が、消防大学校での5日間の全寮制の集合教育を終え、全員が無事修了しました。

研修は、消防庁幹部による国民保護法制の概要に関する講義を始め、専門家による危機管理の初動や応急対応に関する講義、災害事例として平成28年台風10号における岩手県の災害対策本部の対応要領等、危機管理担当者の業務に応じた実践的なカリキュラムで実施し、必要な知識及び能力の習得に努めました。

課題研究では、入校前にあらかじめ示したテーマである「地方行政における危機管理」に関して、近年の不安

定な国際情勢及び大規模化する自然災害等について各班で活発な意見交換がなされ、代表者が発表を行うことで各自自治体が直面している課題について多くの意見が交わされました。

研修を終えた学生からは、「全国各地から集まった学生と、最新の防災に対する課題や、災害対応等の問題について情報交換する中で、危機管理や国民保護の理解が深まった。」「他県・他部局の考え方や進め方を知る機会が得られ有益であった。」等の意見が多く寄せられました。

今後は、消防大学校で習得した知識を糧としてさらに大きな力を発揮するとともに、共同生活で培った各自自治体のネットワークを活かして、それぞれの地域での更なる活躍が期待されます。



課題討議の様子



指揮シミュレーション訓練の様子



課題研究発表の様子



毎朝実施した通常点呼の様子

問い合わせ先

消防大学校教務部 久富
TEL: 0422-46-1712